

## 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金」へのご支援のお願いー学生のために皆様の力をお貸しく下さいー

2020年4月24日

早稲田大学総長 田中 愛治  
早稲田大学常任理事（募金総括） 齋藤 美穂  
早稲田大学校友会代表幹事 萬代 晃

本学では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、授業開始の繰下げやオンライン授業への移行等、感染抑止に向けた措置を講じております。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、家計支持者の収入激減や学生本人のアルバイト収入の減少等で、修学の継続が難しくなる学生が発生しているのも事実です。

本学といたしましては、経済的な理由により就学をあきらめなければならない学生を一人たりとも出したくない、さらに、新型コロナウイルス感染症を人類が克服し、終息した後（アフターコロナ）には、日本のみならず世界で貢献できる「たくましい知性」と「しなやかな感性」を持った学生を1名でも多く社会に送り出すというゆるぎない決意のもとに、総額5億円の支援策を講じることといたしました。この支援策の柱のひとつである「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金」は緊急に経済的支援が必要となった本学および附属高校・中学部、芸術学校の学生・生徒への支援を迅速に行うことを目的としており、さらに従来の家計急変者のための奨学金の増強、およびオンライン授業を受けるためのパソコンやWi-Fi機器の無償貸与などを含めて大学より約5億円の財政支出を行う予定です。しかし、さらなる支援の拡大と継続が必要です。そこで、このたび教職員や卒業生をはじめとして、ご支援を戴ける個人・団体・法人の皆様をお願いする次第です。

本学は、どのような状況においてもすべての学生に質の高い教育が提供できるよう、最大限の努力をしております。このことはSDGs（持続可能な開発目標）の理念である「誰一人取り残さないーNo one will be left behind」の考え方にも沿うものです。早稲田大学の学生が、誰一人として不本意にも経済的理由により就学をあきらめることのないよう、皆様の厚いご支援とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。